

ふらたなす

第 46 号

天使大学同窓会

編集発行  
天使大学同窓会事務局  
〒065-0013  
札幌市東区北13条東3丁目1番地30  
電話/FAX 011-712-1088  
天使大学同窓会ホームページアドレス  
<http://www.tensi-dousoukai.org>  
年一回発行

平成22年12月末現在、同窓生会員総数8,953人

## 「地の塩 世の光」



6号館



7号館(左)・8号館(右)



マリアホール

**特集** 代議員任務を終えて……… 7頁  
クラス幹事のつぶやき… 8・9頁

# 「同窓会組織の再構築にあたり」



同窓会会长  
厚生科十七回・専攻科三回生

## 城直

早春の候、会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申しあげます。平素より、同窓会に対しご支援、ご協力を賜りお礼申し上げます。

三年間の同窓会活動状況をご報告申し上げます。

新会則での同窓会運営は、思案に余る事もありましたが、仕事や親の介護等で多忙の中を活動してきた理事及び委員の方々に支えられて、三年間の任期も無事終えることができそうです。

鎌田前会長からの引継ぎ事項である（はじめから万全の規定は作れないので、今後毎年手を加えながら完成させることを期待いたします）会則・細則の見直しを専門家のアドバイスを受けて、理事会で検討を重ね

てきました。同窓会運営がスムーズに継続できるように「同窓会規定」を作成し、より一層充実した内容になりました。

従来、五年毎に発行しておりました「同窓会会員名簿」は、個人情報保護法により情報漏洩防止の上で今

後は発行しない事を、平成二十二年度の総会で承認された事をご報告いたします。「会員名簿」のデーターは業者に管理を委託しており、理事会の承認なくしては貸し出しが出来ないよう厳重に管理いたしております。

また、「バギオ」への奨学金については、栄養科卒業の有志の方々が中心となり行われていた福祉活動が、昭和五十九年に同窓会の事業として発足し、現在も福祉部として活動いたしております。

事業部につきましては、同窓会事業としてどのような事ができるのかを担当理事、担当委員で検討を重ね

てきましたが、資金及びマンパワーの面から新事業を立ち上げて展開するのは困難との結論に達しました。新事業を立ち上げるのではなく、会則に掲げている項目、第三条（母校の発展に寄与する）、第四条四（天使大学ならびに学生への支援に関する事業）に即した事業を開くことを理事会で決定し、今後は「同窓会奨学金事業」として、活動を継続する事といたしました。

先の見えない経済不況と、今後の少子化による受験生の減少等を考慮して、現在実施している「天使大学奨学金」制度を見直して、拡大・拡充を図り、天使大学及び在校生への支援を目的とした「天使大学同窓会奨学金検討委員会」を発足させて、早い実施にむけ取り組んでいるところです。

社会貢献活動については、栄養科卒業の有志の方々が中心となり行われていた福祉活動が、昭和五十九年に同窓会の事業として発足し、現在も福祉部として活動いたしております。

「バギオ」への奨学金については、栄養科十四回生有志の方々が、「シスター海野」の活動（フィリピン・バギオにおける日系子女のための奨学金事業）に深く感銘して協力をしていた活動に対しても、同窓会福

祉部の事業として続いています。基金の資金としては、福祉部活動（バザー・タキさんの店）から得る収益も活躍している会員の方々及び同窓会役員として活動に携わった方々に心からお礼申し上げます。

ここで、福祉活動の原点に返り、今年度から福祉部の収益金全額を奨学金として「バギオ」へ寄付する事になりましたのでご報告いたします。同窓会は、新会員からの入会金で運営いたしております。多額の資産を預かっている責任上、不祥事が起きたような会計システムを構築し、会計決算は中間、年度末の二回とし、公認会計士に決算状況の指導を受けて、適切な会計を行い資産の管理をいたしております。

新会則・細則が全会員に周知されるまでには、まだまだ時間を要するとは思います。

最後になりましたが、多くの皆様が同窓会運営にご理解を示して、今後の同窓会の発展にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げて、退任のご挨拶と在任中のお礼を申し上げます。



天使大学学長

丸山知子

# 「大学間競争の中で 天使大学の将来を考える」

私は、二〇一〇年四月から学長職を拝命致しました厚生科十六期、専攻科二期卒業生です。卒業後十数年間天使病院や天使女子短期大学で勤務し、聖路加看護大学修士課程に進学、その後二十八年間札幌医科大学に勤め無事定年を迎えた。昨年四月から三十年ぶりに天使大学に戻って参りました。短期大学から改組転換し大学となつて十年目でした。皆様ご存知の通り、現在、日本では若年層の減少により、受験生は減り大学全入時代といわれております。従つて、各大学では良い学生と定員数確保のために様々な特色を明確にし、戦略的に取り組んでおります。特に経済状況の悪化により学費の問題は大きく、受験生は国公立優先となり、私

学にとっては学生のレベル確保と人數確保が大変厳しい状況になつております。本学はシスター達が築いて下さった五十年間の短期大学の教育成果が地域の方々に認められ、道内の看護・栄養分野では現在でも高く評価されておりますが、安閑としてはいられない状況におかれていることも認識しなければなりません。天使大学は一学部二学科で一年定員が約百八十人、大学院を合わせても二百人程度の規模ですから、経営的にも大変厳しい状況におかれています。足元の安定は当然ですが、大切なことは天使大学の将来像を明確にすることだと考えております。

天使大学は、看護栄養学部と看護栄養学研究科、助産研究科で構成さ

れ、大学院は修士・博士課程前期で高度専門職業人と研究者育成を行つております。栄養管理学専攻では博士課程まで設けております。博士（栄養学）は今年度一期生が学位取得予定です。近年、短期大学や専門学校の大学化がすすみ、看護教員や管理栄養士の教員が不足し、教員体制が大変厳しい状況にあります。現在、学部卒業生は勿論のこと、短大卒業生の方々にも大学院で学修できるよう、学費等を含め検討しております。更に、本学の大学院のあり方を検討し、積極的に卒業生を育てる方策が喫緊の課題の一つと考えております。一方、学部教育において、文科省では大学生の就業力やキャリア人材育成に力を入れております。本学において、正課・正課外プログラムに二学科共通のプログラムがありません。社会では健康に大変関心が高まつており、国の対策としても食育や病気予防に力を入れていることから、今こそ二学科の特色プログラムを作らなければならぬと考えております。

また、栄養学科の学生は昨年、セブンイレブンとの連携によるお弁当や今年はコーポのレスピ等、看護学科学生においても東区と健康に関する連携等、色々幾つか地域連携による活動を行つております。このような

学生の能力をもつと社会に発信していく必要があると考えております。例えば、両学科学生による健康料理レシピシリーズの出版等が考えられます。また、同窓生と学生による地域連携活動の企画運営等、学生を取り込んだ同窓会活動がありますと学生にとっても同窓会の存在をもつと身近に認識することができると思います。ぜひお考え頂ければと期待しております。

現在、考えなければならないことが山積しております。特に、天使大学の近未来像と更なる発展のための将来像を作成することが大きな課題だと考えております。大学にとって同窓会は力強いサポート組織となっております。同窓会活動が活発であるほど大学の社会的評価も高まり、良い学生が集まることにつながります。同窓会と大学が各自自立しつつ協同して活動することが重要であり、大学の発展につながると考えております。

最後になりますが、天使大学の伝統である様々な行事とその精神は、時代と社会の変化と調和させながら、発展的に継承していく必要があると考えております。どうぞ、同窓生の皆様の温かなサポートと前進的なご意見を心からお待ちしております。

## 同窓生の皆様へ



学校法人天使学園理事長

近藤潤子

天使大学に改組転換してはや一年目になりました。本年三月まで学長として在職中は、同窓生の皆様から温かいご支援をいただきましてありがとうございました。この間にお寄せいただきましたご厚情に深く感謝申し上げます。

平成十二年、大学に改組転換、同年  
十六年日本初の専門職大学院助産研究科の開設、同十八年大学院看護栄養学研究科修士課程看護学専攻、栄養管理学専攻開設、同二十年看護栄養学研究科栄養管理学博士課程、の開設ができました。

本年四月から天使大学を経営する学校法人天使学園の理事長職に専念することになりました。

これにともなつて、六号館（看護学科）、七号館（栄養学科）、八号館（大学院）が増築されました。借財することもなく、自前でこれらの整備ができたのは、シスターが残していくださった基金や同窓生の皆様のご支援の賜物と感謝しています。

マリアの宣教者フランシスコ修道会によって設立された本学の使命の達成と発展のために努力していきた  
いと思います

本学で学ばれた同窓生の皆様のご  
支援とご協力をお願い申し上げます。

ための助産師教員、臨床指導者養成のための修士課程を開設しています。看護栄養学研究科には看護学専攻修士課程、栄養管理学修士・博士課程を開設していますので生涯教育の一環として卒業生の皆様もどうぞご参加ください。



# 天使大学同窓会理事 三年を終えて

天使大学同窓会 副会長

野原純子

厚生科七回生 副会長

吉岡博子

任期二年間を終えて

平成二十年四月から天使大学同窓会理事・副会長をしております。

新しい理事体制となり（選挙制度や会則・細則の執行）、四苦八苦し

ながら皆の知恵を出し合い歩んできました。

『その歩みの中で』

一、細かな会務が意外に多く、かつ大事であり必要な内容であること書類の作成、打ち合わせが必要な事項、理事間の連絡、会員との連絡など。

二、大学との連携について

大学の日程や行事についてきめ細かな打ち合わせが必要である。また相互のあり方に対する意見交換の場をもつと持つべきであること。

三、理事の増員について

定期かつ臨時の会議を開催しているが、会議の準備やまとめなどを処理していくには、一人の負担を軽減し分業できる体制が必要と考える。

少し固い内容になりましたが、皆は母校の発展と活躍を願っています。“楽しみながら和やかに”を大切に同窓会室に集まっています。

## 任期を終えるにあたって

の方々の指導と、辛抱強く見守り支えて下さったおかげです。本当にありがとうございました。又、仕事を通して、同窓生の皆様の同窓会に対する気持ちが、いかに強いかを感じました。時代は移り変わりますが、天使の精神は変わらないと思います。

これからも同窓会を大切にしていただきたいものです。

前副会長の途中退任に伴い、残り一年間の間でしたが、会長の補佐役として、同窓会の運営に関わる機会を得ました。

正直、一年間は、ただ会則と細則の理解に欠け、流れに沿って動いていただけ、だった様に思います。

平成二十二年度に関して言えば、

会運営の羅針盤にあたる、会則細則の見直しを、担当理事と協力、多くの時間を使い検討協議し見直しました。

結果、実態に即した、会則になつたと自負しています。

今後は、同窓会の一員として、側面から会の運営に支援協力していく

ご協力を感謝いたします。

会員・組織担当理事  
(看)「十六・専十二」

本宿美砂子

## 三年間を振り返って

研修部担当理事  
栄養科二十五回生

本間啓子

おります。ご自分のクラスにつきましては、最新の名簿をコピーしてお持ち頂くことを、お願いたします。

城会長のもと研修部を担当し、三年間同窓会の運営に関わらせてもらいました。私のような微力な者が、どのようなお手伝いが出来るものかと、考えながらの三年間でした。それ

かし、研修部で担当した同窓会総会時の講演会、会員の先輩の皆さまの

どこまでも向上心旺盛の姿勢に身に引き締まる思いがしました。それは、また同窓生の母校に対する強い思いとなり、今日の天使大学があるものと感じました。「会員と在学生を繋ぐ研修部」を目指し、次会の理事にバトンを渡します。

三年の任期は、長いですね。でも、振り返ってみると、アッという間の三年でした。大胆にも、ズブの素人の私が、会計を担当し、よく務められたなあと

いう思いです。これもまわりのスタッフは、三年間が過ぎました。無事務め

## 三年間を振り返って

栄養科十五回生

遠藤徳子

## 任期二年間を終えて

庶務担当理事

本間裕子

三年の任期は、長いです。でも、振り返ってみると、アッという間の三年でした。大胆にも、ズブの素人の私が、会計を担当し、よく務められたなあと

いう思いです。これもまわりのスタッフは、三年間が過ぎました。無事務め

同窓会に理事が組織され、それまでにはなかつた“庶務”という部門に戸惑いながら担当し、あつという間に三年間が過ぎました。無事務め

終えたなどとは到底言えず、先輩方にご指導いただいてばかりだったよう思います。新しいことを構築していくことは本当に大変だという事、でも、いろんな体験は確実に自分の財産になるという事をたくさんの方々に教えていただきました。

卒業後、栄養士の資格とは関係のない職に就き、『天使』という名もほとんど忘れていた二十数年でしたが、この同窓会で二年間『二度目の学び』をさせてもらったように感じています。

本当にありがとうございました。

## 同窓会役員の任期満了にあたつて

栄養科十三回生

宗 万 七洋子

会則改正元年の年に理事という責任ある役員を受けてから、早や三年

の終了時となりました。この間、福祉部理事として、活動を通じ、委員の方々、支援会員のみな様のご協力に支えられ多くの事を学ばせて頂きました。福祉とは何かと自問自答しつつ、伝統ある「タキさんの店」や天使祭、クリスマス等には多くの皆様のご支援をいただき、熱く心に残っています。十二月の反省会では会員の方々の持ち寄り料理の品々にも古き良き天使を感じさせていただきました。

## 福祉部員任期満了にあたつて

栄養科三十回生

菊 地 さとみ

福祉部役員の任期を無事終えるのは、支援会員の同窓会先輩方のお蔭だと深く感謝しております。

五十代は仕事・家庭（特に親の介護等）さまざまな問題をかかえる多忙な世代です。時代・環境の変化の中、三年間の役員活動の継承はこれからも多くの課題があるので……

## 三年間の広報部活動を終えて

広報部担当理事

仙 庭 ミ ナ

会則改正元年の年に理事という責任ある役員を受けてから、早や三年の終了時となりました。この間、福祉部理事として、活動を通じ、委員の方々、支援会員のみな様のご協力に支えられ多くの事を学ばせて頂きました。福祉とは何かと自問自答しつつ、伝統ある「タキさんの店」や天使祭、クリスマス等には多くの皆様のご支援をいただき、熱く心に残っています。十二月の反省会では会員の方々の持ち寄り料理の品々にも古き良き天使を感じさせていただきました。

三年前の秋深くなつてから、現在の会長である城さんからお声が掛かり、とにかく一期だけで良いから同窓会理事を引き受けほしいと言われ、会則や細則の改正に係わった関

## 福祉部タキさんの店二十年

同窓会福祉部 支援会員

上野 良子

た。年度毎の収益金は全て同窓会の会計に繰り入れ、在学生や同窓生の支援金となり活用いただいています。今になってふりかえると、暗中模索の中で、いつも穴のあくほど会則・細則を読みながら、同窓会の有るべき姿を追い求めた二年だったように思います。

今になってふりかえると、暗中模索の中で、いつも穴のあくほど会則・細則を読みながら、同窓会の有るべき姿を追い求めた二年だったように思います。

同窓会活動を担う理事という重いお役目を引き受けました。あれから三年。ようやく肩の荷が下りる時期を迎えてホッとしています。広報活動の経験がP.T.A広報誌や、職務上出していた保健室便りしかない私でしたのに、広報担当理事を引き受けたのですから、およそ無謀だと言われてもしょうがない状況でした。一番困ったのはホームページの管理です。パソコンはべた文を打つのがやつとの私ですから推して知るべしです。二年目には、とうとう庶務の理事さんにバトンタッチをして力を借りる事になってしまいました。

広報誌ぶらたなすの編集も原稿の集まりが締め切りを過ぎる事が多々あり、ひやひやものでしたが何とか三回発行できました事は、同窓生の皆様の温かいご支援とご協力が有つた賜物である事を心より感謝とお礼を申し上げます。

広報誌の内容につきましても、若い委員さんのアイデアが光り委員さんの協力なくしては発行にたどり着けなかつたと思います。表紙にカラーワ写真を入れる事が出来ましたのは、大学側の同窓会に対する力強いご協力の賜物で感謝します。あれもこれも感謝感謝の気持ちを持って無事次の広報部にバトンタッチをします。

福社部は昭和五十九年に、大学、同窓生が関わる福祉事業を支援する

ために発足しました。

タキさんの店は福祉資金をえる事

業として開店いたしました。

「タキさんの店」と命名されたのは、

平成二年、今年でちょうど二十年になります。当時はケーキだけでなく、

おにぎり、サンドイッチ、サラダ、コ

ヒーまで提供し、その頃を思い出さ

れる同窓生も多いのではないかと思

います。大学の調理室と食堂が広く整備された時を契機にタキさんの店

も変わり、ケーキだけを提供するよ

うになりました。現在は同窓生、在校生の懇親を深める楽しい集まりになつております。

なお、福祉部の「タキさんの店」

という名称は六十三年前（一九四七）

に天使短大が創設されたときにいらした修道女セルビアナ中村タキ先生に由来しております。先生は専門知識

だけでなく、人を思いやる心の大切さ

を強く教えられ学生に大きな影響を

与え、多くの学生に慕われました。

「タキさんの店」の名前にはこんな

当時の学生の思いがあつて名付けられ

たのです。

# 三年間、代議員の任務を終えて

## 代議員の任務を終えて

看護科二十八回生

松前範子

を愛する多くの諸先輩のご意見も拝聴でき、同窓会がより身近に感じられるようになりました。

代議員制になり、議論の後スムーズに採決に移行し、結論が出るので今までの幹事会のように、果てしなく議論が続く感が無くなり良いと思いましたが、広く経験者が増える方が良いので一任期が望ましいと思い

ます。

## 代議員を体験して感じたこと

栄養科十六回生  
渡部邦子

総会の議案によつては、代議員が担う議決権の行使のむずかしさを感じます。

## 代議員を引き受けたの感想

看護科三十四回生  
笹木葉子

代議員として総会に出席し、同窓会の皆様の代表として一票を投じることの重さを感じました。また天使

## 「代議員を体験して感じたこと」

専攻科二十三回生  
佐瀬美恵子

代議員二年の任期が無事終了することになりました。役割を体験することで、いっそう同窓生として、年代や学科を越えたつながりの強さと、「母校」を自分で築く責任を実感する事が出来ました。経験に感謝しています。

## 代議員の任務をおえて

栄養科二十二回生  
石井尚美

何もわからぬまま代議員となり、三年の任期が終了しようとしています。総会での議決権に重大な責任を感じ、自問自答しながらも何とか無事に肩の荷を下ろさせていただきます。

## 代議員を体験して思つたこと

専攻科十五回生  
今まで同窓会に無関心だった私は、代議員でなければ総会に出席すること

とはなかつたと思います。活動内容をより理解し、身近に感じることが出来ました。多くの会員が経験できるという意味でも良いしくみだと思います。

## 同窓生の思い出皆一緒

栄養科三十三回生  
伊織美保子

総会では活発な意見や提案が出席者の方々から出されます。が、決議権は代議員しかないため、非常に責任を重く感じました。でも、皆の思いは一緒とも感じた三年間でした。

## 代議員の任務を終えて

衛生看護科四十四回生  
三枝麻貴子

三年間に、出産・育児、引っ越し、就職等私としては人生の大きな変化の中、代議員としては何もできなかつたのでした。(言いわけです。)私のようなものでも務めさせていただき、ありがとうございました。

## お詫び

代議員の皆様には原稿をお寄せいただきます。編集の手違いからお名前が変わったことがあります。お詫び申します。広報部担当理事 仙庭ミナ

## 役員選挙について

### 要望ですが

- ・総会時の座席は自由にしてほしい。  
ほとんど総会に出席したことがなくよくわからないのに、背中に視線を感じながら座っているのは苦痛です。

- ・大学内で総会を開けないか。ホテルだと気軽な服装で参加しにくい。

ことになります。投票権を持つのは、ブロック毎に決まりました代議員の方のみです。役員候補者推薦委員会で推薦された候補者については、十二月にお送りいたしました「ふらたなす臨時号」でお知らせをしたところです。選出されました役員の方々は同窓会の理事となり、新たな同窓会の運営に携わることになります。会員の皆様には天大同窓会が益々、大きく発展するようご協力をお願いいたします。

代議員となられた方は、必ず総会に出席し、一票を投じてください。お願いいたします。

代議員となられた方は、必ず総会に出席し、一票を投じてください。お願い致します。投票等の詳細につきましては、選挙管理委員会からご連絡いたします。

# クラス幹事のつぶやき

代議員として毎年の総会への出席はしておりましたが、同窓生の皆様と交流する機会もなかったため、意見・要望などを総会の場で反映できなかつたと反省しております。

専攻科13回生 今崎 裕子

17回生の皆様いかがお過ごですか。記録的な猛暑も去りその反動か、かぜ流行のニュースも聞かれます。お互い60歳半ば体を大事に過ごしたいものです。またお会いする機会がありますように。

厚生科17回生 浅利 陽子

クラスの皆様に、同窓会の活動を周知して頂くには、ふらたなすの活用が大切だと感じます。

栄養科16回生 渡部 邦子

代議員の選出されていない、クラスの幹事さん達との連携がスムーズに機能しているのでしょうか？伺いたいと思いました。

厚生科4回生 沢 禮子

昨年、クラス会を開き次期幹事を引き受けましたが、会則の改正後三年も過ぎているのに良く周知しておらず、事の成行きに戸惑っている次第です。次のクラス幹事に繋げる為にも、同窓会のしくみを勉強させて頂きます。

栄養科23回生 村上 加代子

同窓会のために日頃のご尽力を感謝しております。1回生は全員老齢になって、後輩の方々のお力を頼りに母校の発展を祈るばかりです。

厚生科1回生 横野 登美子

会則細則改正後の同窓会運営で、支障をきたしていることがあるのでしょうか？代議員制度で支障があるのであれば、既に経験している代議員の方のご意見を聴き、改正の有無や提案をもとに検討されることを期待します。

厚生科4回生 深沢 幸子

臨時で勤めた役場の保健師さん、お世話になつた助産師さん。同窓生との出会いは嬉しく、良い刺激になります。

栄養科48回生 宮下 あずさ

私達のクラスは、皆様がとても協力的で、チームワークも良く、幹事としては、非常に有難く感謝しております。必要な時に集まつたり、札幌在住の方々でのミニクラス会も続けております。

厚生科14回生 上野 閑子

平成21年、10月3日、「おとわ」にて、栄養科20回生のクラス会を行ないました。出席者は9名。横浜、旭川などからもかけつけて下さいました。皆、還暦をむかえ、40年前の話に夢中でした。

次回幹事 中井 妙子

同窓会運営の皆様、ご苦労様です。クラス幹事とは名ばかりで申し訳なく存じます。

特に私はこの八年在宅で夫の介護を致して居りますので此の後はクラス幹事も残念ながら終了させて頂きます。発展を祈りながら。

助産婦3回生 菅原 光子

同窓会の会員数が増え今後永続的に運営がなされるなら社会的通念上においても会則・細則が必要であることは言うまでもありません。

私共会員も会則・細則を基に組織的活動になれていくべき時期にきているとも思われます。

栄養科17回生 小板 知子

クラス幹事として、幹事らしい事や総会に出席できない事が多かったのが現状です。頻繁には出来ない同窓会以外にも、連絡網の確立や推進ができるべど考えております。

2005年卒幹事 3-A 佐藤 龍二

組織が大きくなりましたから代議員制への移行は良いと思います。

看護①ブロック 厚生科6回生  
クラス幹事 木村 泰子

我29期は2年に1回クラス会を開催しており、その都度、幹事も交代しています。同窓会の代議員を決めると言われてもどうもピンときません。固定的に同窓会用クラス幹事を決めておくべきかもしれません。

看護29回生 佐藤 はるみ

18回生は毎年15名前後で旅行をクラス会として親交を深めています。以前は誘い合って同窓会総会にも参加していましたが組織機構が変わってからは足が遠のいています。運営は大変と思いますが身近な同窓会であることを願っています。

**厚生科18回生クラス幹事 我妻 静子**

代議員の選出時に、クラス幹事の出席も少なく、出席者の中からの選出では無いにしても偏りがちになるので強制的に期の順番制にしてもらいまわり、ブロック数をもう少し少なくし、負担を軽減する。

**看護科28回生 松前範子**

クラス幹事会は、他のクラス幹事の方々と交流し、様々な情報や大学の様子などを聞かせていただけた良い機会でした。再度復活させていただきたいと思います。昨年(20年振り)久し振りにクラスメートに再会し、級友の絆を深めました。

**専攻科4回生 大橋 ちよ子**

代議員・補欠代議員は、ブロックごとに選出されますが、母体となるクラス幹事が、今後より高齢化となる①ブロック看護系(厚生)については、体調面等でも、きびしい傾向になるとと思われますが、より良い案を期待いたします。

**厚生科7回生 小川瑠美子**

「総会」では、同窓生の皆様から色々なご意見やアドバイスが出ますが、議決権があるのは代議員のみなので、非常に心苦しい気持ちです。総会では出席者全員が議決権がある様にすると良いと感じております。

**栄養科33回生 伊織 美保子**

いつも御苦労様です。原稿依頼をいただきましたが、今までほとんど活動に参加しておらず、クラス会も行えていませんので、原稿を書くことができません。大変申し訳ありません。どうぞよろしくお願ひします。

**看護科45回生 十川幸重**

クラス幹事としては何も出来ずに三年が過ぎ反省しております。クラス幹事の中から代議員や同窓会役員も選出する状況なので、兼務せざる得ない厳しい体制ではないでしょうか

**栄養科30回生 菊地さとみ**

総会には、議決権を有する代議員の出席が多くなることを期待します。

**厚生科11回生 権丈勝子**

現在、わからないことが、わからない状態です。お役に立てず申し訳ありません。

**衛生看護科47回生 渡邊理華**

会則変更、細則改正は同窓会の発展拡大を示すので、これからも変化するのでは。現状に見合う会則と思うので見守って行きたい。また代議員制は総会の運営をスムーズにしている。ただ一般同窓生の質問時間を少し多くしては。

**厚生科7回生 産婦5回生 小板幸子**

卒業生が一人残らず同窓会の会員として名前を残し、母校との絆を保っていくことを希望します。母校を応援する想いは大切なことです。人として！

**栄養科6回生 阿部正子**

原稿のご依頼ありがとうございましたが先回もクラス幹事おこわりして、クラス(4回生)の原さんか山本さんにお願いしたのですが、現在栄養士とは別の仕事をしていますので宜しくお願いいたします。

**栄養科4回生 岸田陽子**

クラス幹事になって、間もないのに特にありません。今後何かありましたら、連絡させていただきたいと思います。

**栄養科7回生 芳賀亜希子**

久しぶりのクラス会を10月28日(木)に行いました。14名が出席しあい元気で会えた事を喜び合いました。2年に一度位の割合でクラス便りを発行し、クラスの絆を確かめ合っています。東京の方達も機会をみつけて会っているようです。皆さん、元気で過ごしましょうね。

**栄養科11回生 古川淳子**

幹事以外の感想として、私が小樽市保健所(昭和53年退職)に在職中に同窓会から3,000円送られて皆と相談してとにかく栄養士のみで小樽地区会を作ったのですがその後厚生科の方も入って会が運営されたのですが近年会員の集まりも悪くなり平成20年に解散しました。現在たくさんの方々との集まりなど好まない傾向もあり会の運営も大変だと思います。

又、厚生科と栄養科の方とは職業柄話が合わないこともありますなかなかむずかしいですね。皆様の意見を良く聞いて同じ学校の同窓生として先輩も後輩も参加出来る会に発展していただきたいと思います。

**栄養科4回生 岸田陽子**

特に疑問に思うことはなく、クラス会も久しく開いていない中説明を求められることもなく…という状況でして、原稿を書くに至りませんでした。

**専攻科36回生 砂澤純乃**

● 第十二回支部総会を六月十九日（ターミナルホテルで）開催しました。出席二十名、委任四十一名で無事総会は終了しました。

今回は総会に先立ち「最近話題の精神疾患－認知症・感情障害・不安障害－」のテーマで旭川圭泉会病院副院長の猪俣光孝氏の講演を伺いました。今、会員自身も高齢化に向っていること、介護を担

支部長 久原 恵美子

## 旭川支部

関東支部は助成金が削除され運営が困難。新卒者の情報も入手できず新会員も増えない現状です。総会は疎外感だけでした。

支部長 椎名 喜美江

## 関東支部

各支部の支部長さんから、活動の報告をいただきました。



八月二十二日(日)に今年度の総会と研修会を実施。研修会ではマイ箸袋作りを行いました。又、年三回「男の料理教室」を行なっており、十月二十四日(日)で第九回の開催となります。登録者は五十名近くおり、毎回参加を楽しんでいます。参考ります。

支部長 宮坂陽子

## 十勝支部

● 同窓会名簿の発行がない上卒業生の動向などの情報も全くない現状では新入者を迎える術もなく、高齢で退会者が増えていく現状では支部の辿る道は見えています。道内支部三ヶ所が廃止されたニュースで旭川も心細い限りですが、もう少し頑張ろうと話し合っています。

## 同窓会支部長名

※同窓生の皆さんで支部所在地にお住まいの方、連絡を待っています。

支部名	卒・回	支部長名	〒	住 所	☎
関 東	衛看24・専攻9	椎名 喜美江			
関 西	厚 生 15	上林文子			
函 館	栄 養 10	鈴木みのり			
旭 川	助産11・厚生13	久原 恵美子			
十 勝	衛 看 28	宮坂陽子			
稚 内	栄 養 10	倉 洋子			
釧 路	厚 生 19	箴井敦子			

プラタナス発行後に変更があった支部におかれましては、早急にご連絡ください。  
支部長名簿を変更させて頂きます。〈係〉

## 支部長さんからのお願い！！

各地にある同窓会の支部にどうかご参加ください。支部の所在地につきましては、支部長一覧を参照してください。

**平成22年度**

# 天使大学同窓会総会報告

・役員改選に向けて各委員会等の開催

◎平成二十二年度予算 (案)

◎同窓会名簿発行について (案)

・個人保護法の施行による個人情報管理の難しさ、クラス幹事集

会での検討等により、同窓会名簿は発行しないこととする

・選挙管理委員・役員候補者推薦

委員選出のためのクラス幹事集会

・講演会開催

・同窓会奨学金事業の活動

・広報紙「ぶらたなす」発行

・「タキさんの店」七回開店および大学祭時バザーの開催

・大学・合唱コンクールへ審査員派遣

・大学行事の際に花籠・祝電・飲料等の贈呈

・新会員への記念品・弁当贈呈

・学生の部活動における遠征費の助成 (一部)

・フィリピン・バギオへの支援活動 (奨学金送金)

演題『北海道における自然環境復元の課題と方法』

講師 岡村 俊邦氏  
(北海道工業大学工学部教授)

**瑞宝小綬章**  
鎌田 としお  
栄養科五回生

**厚生労働大臣賞**

栄養科二十二回生

野原純子

## II 講演会

## III 懇談会

議長 栄養科二回生・  
古川 淳子氏

副議長 看護科二八回生・  
松前 範子氏

◎平成二十一年度会計監査報告  
〔提案どおり了承〕

出席者 四十八名

参加された方々は、バイオリンの生演奏でシャンソンを聴きながら、気分はすっかり学生の頃に戻つて和やかに談笑されていました。

## ■報告事項

◎平成二十一年度会務・事業報告

・理事会、常任委員会、各委員会の開催

・選挙管理委員、役員候補者推薦

◎平成二十二年度事業計画 (案)

・例年の事業の継続

・会則、細則の見直し

受賞おめでとう  
ございます



**平成21年度一般会計収支決算書**  
自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

## 【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前年度繰越金	4,002,047	4,002,047	
1. 会 費 収 入			
①入 会 金	9,850,000	11,200,000	平成21年3月卒業 @50,000×224人分
②維 持 会 費	1,000,000	1,147,880	1,148人分
2. 福 祉 部 収 入	250,000	293,900	タキさんの店・バザー
3. 寄 付 金	0	77,880	維持会費過払・有志
4. 受 取 利 息	10,000	2,742	
5. 雜 収 入	5,000	11,285	
合 計	15,117,047	16,735,734	

**平成21年度一般会計収支決算書**  
自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

## 【支出の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
1. 事 業 支 出			
①庶 務 委 員 会	100,000	67,136	
②会 計 委 員 会	100,000	63,947	
③広 報 委 員 会	200,000	110,294	
④会 員 組 織 委 員 会	300,000	67,580	
⑤研 修 委 員 会	50,000	25,619	
⑥福 祉 委 員 会	250,000	213,531	
⑦事 業 委 員 会	100,000	46,419	
2. 一 般 管 理 支 出			
①総 会 費	500,000	618,672	会場費・講演会講師謝礼等
②会 報 誌 発 行 費	1,800,000	1,663,712	7,200部発行 6,408部発送
③ク ラ ス 幹 事 通 信 助 成 費	200,000	54,000	
④同 窓 会 入 会 式 費	900,000	401,788	記念品(印鑑付ボールペン)祝い弁当
⑤会 議 費	50,000	2,242	
⑥奨 学 金 判 定 委 員 会 費	20,000	0	
⑦代 議 員 会 費	100,000	0	
⑧常 任 理 事 会 費	50,000	59,760	10回開催(交通費等)
⑨理 事 会 費	300,000	164,020	4回開催(交通費等)
⑩役 員 選 任・選 挙 委 員 会 費	0	0	
⑪通 信 費	200,000	166,328	
⑫交 通 費	50,000	52,360	ク ラ ス 幹 事 会 交 通 費
⑬消 耗 備 品 費	200,000	102,163	
⑭慶弔 費	100,000	91,596	
⑮支 払 報 酬 費	200,000	130,200	アルバイト代
⑯雑 費	20,000	16,078	
⑰予 備 費	200,000	0	
3. 寄 付 金 支 出			
①使 用 料(室料)	270,000	270,000	同窓会室・調理実習室
②寄 付 金(バギオ)	150,000	150,000	
③助 成 金(大学 クラブ)	300,000	132,660	大会出場助成・体育祭時飲み物
④記念品大学10周年	2,407,047	3,524,850	体育館
4. 積 立 金 支 出			
事 業 積 立 金	3,000,000	3,000,000	
5. 名 簿 発 行 費	3,000,000	0	
合 計	15,117,047	11,194,955	

(次年度繰越金) = 当期収入合計 - 当期支出合計

$$16,735,734 - 11,194,955 = 5,540,779$$

※次年度繰越金の中に①特別会計Ⅱへの未払金2,376,271円  
②維持会費未収金 10,000円を含む

**平成21年度特別会計収支決算書**  
自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

**【収入の部】**

(単位：円)

科 目	特別会計 I (奨学金)	特別会計 II (前受金)	摘要
前年度繰越金	5,168,836	40,976,176	
1. 会 費 収 入 ①前受け金		10,000,000	平成21年度入学生 @50,000×200人分
2. 繰 入 金 収 入 ②貸付金返金	210,000		
3. 雜 収 入 ③受取利息	1,666	71,802	
合 計	5,380,502	51,047,978	

**【支出の部】**

(単位：円)

科 目	特別会計 I (奨学金)	特別会計 II (前受金)	摘要
1. 前 受 金 支 出 ①入会金 ②退学者返金		11,200,000 350,000	(平成17年度入学生224人分) 平成21年度一般会計へ 7人分
2. 貸 出 金 支 出 ①奨学金貸付	240,000		
3. 雜 費 ③振込手数料	840		
合 計	240,840	11,550,000	

(次年度繰越金)=収入総額-支出総額

【特別会計 I】 5,380,502 - 240,840 = 5,139,662

【特別会計 II】 51,047,978 - 11,550,000 = 39,497,978

**一般会計財産目録**  
平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
資 産 の 部			
流動資産			
現 金	142,650		
預 賾 金	5,488,129		
郵便普通貯金	2,190,760		
振替口座		7,821,539	
流動資産合計	22,049,865		
固 定 資 産			
北洋銀行定期貯金(事業積立金)		22,049,865	
固定資産合計			29,871,404
資 产 合 计			
負 債 の 部			
流動負債			
未 払 金	2,376,271		
①特別会計 II (前受金) ②振替口座(維持会費)	10,000		
固 定 负 債		2,386,271	
負 債 合 计		0	2,386,271
正 味 財 产			27,485,133

※事業積立金の定期預金に当期中の利息34,644円が付いている

**平成22年度一般会計予算**  
自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

**【収入の部】**

(単位：円)

科 目	前年度予算額	23年度予算額	摘要
前年度繰越金	4,002,047	5,540,779	
1. 会 費 収 入			
①入会金	9,850,000	10,700,000	平成22年3月卒業生214名分
②維持会費	1,000,000	1,000,000	
③維持会費未収金	0	10,000	維持会費返金(中退者・過払者)
2. 福祉部収入	250,000	250,000	タキさんの店・バザー等売上げ
3. 受取利息	10,000	3,000	
4. 雜 収 入	5,000	5,000	
合 計	15,117,047	17,508,779	

**平成22年度一般会計予算**  
自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

**【支出の部】**

(単位:円)

科 目	前年度予算額	22年度予算額	摘要
<b>1. 事業支出</b>			
①庶務委員会	100,000	100,000	
②会計委員会	100,000	100,000	
③広報委員会	200,000	200,000	
④会員組織委員会	300,000	150,000	
⑤研修委員会	50,000	50,000	
⑥福祉委員会	250,000	250,000	材料費・支援会員交通費
⑦事業委員会	100,000	100,000	
<b>2. 一般管理支出</b>			
①総会費	500,000	700,000	会場費・交通費・講師謝礼・懇親会
②会報誌発行費	1,800,000	2,000,000	「ぶらたなす」発行料・発送費
③クラス幹事通信助成費	200,000	200,000	
④同窓会入会式費	900,000	600,000	記念品(バッヂ・印鑑付ボールペン)
⑤会議費	50,000	50,000	定期会議以外の開催会議費
⑥奨学金判定委員会費	20,000	20,000	会議費・交通費等
⑦代議員会費	100,000	100,000	会議費・交通費等
⑧常任理事会費	50,000	70,000	会議費・交通費等
⑨理事會費	300,000	200,000	会議費・交通費等
⑩役員選任・選挙委員会費	0	100,000	
⑪通信費	200,000	300,000	電話・パソコン管理費
⑫交通費	50,000	50,000	行事参加時等の交通費
⑬消耗備品費	200,000	200,000	事務用品・コピー用紙等
⑭慶弔弔費	100,000	100,000	大学行事の花代・祝電・会員の弔電
⑮支払報酬費	200,000	200,000	謝礼・アルバイト代
⑯データベース管理費	0	150,000	
⑰選挙広報紙発行費	0	1,200,000	
⑱雑費	20,000	20,000	振込手数料等
<b>3. 寄付金支出</b>			
①使用料(室料)	270,000	300,000	同窓室10万・調理室20万
②寄付金(バギオ)	150,000	150,000	
③助成金(クラブ)	300,000	300,000	クラブ大会出場助成・体育祭時飲物
<b>4. 積立金支出</b>			
事業積立金	3,000,000	3,000,000	
<b>5. 名簿発行支出</b>			
6. 未 払 金		2,376,271	
<b>7. 予 備 費</b>	2,407,047	1,172,508	
<b>合 計</b>	14,917,047	17,508,779	

**平成22年度特別会計予算書**  
自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

**【収入の部】**

(単位:円)

科 目	特別会計I(奨学金)	特別会計II(前受金)	摘要
<b>前年度繰越金</b>	5,168,836	41,324,249	
<b>1. 会費収入</b>			
①前受け金		10,250,000	平成22年度入学生 @50,000×205人分
<b>2. 繰入金収入</b>			
②貸付金返金			
<b>3. 雜 収 入</b>			
③受取利息	5,000		
<b>合 計</b>	5,173,836	51,574,249	

**【支出の部】**

(単位:円)

科 目	特別会計I(奨学金)	特別会計II(前受金)	摘要
<b>1. 前受金支出</b>			
①入会金		10,700,000	平成21年度卒業生(214名)
②退学者返金		550,000	11名分
<b>2. 貸出金支出</b>	480,000		
①奨学生貸付			
<b>3. 雜 費</b>			
③振込手数料			
<b>合 計</b>	480,000	11,250,000	

# 平成23年度同窓会総会・懇親会のお知らせ

●日時—— 平成23年4月16日(土) 10:30~

●場所—— 全日空ホテル 札幌市中央区北3条西1丁目 ☎011-221-4411

●受付時間—— 10:00~

●総会—— 10:30~12:30 白楊の間 (24階)

●懇親会—— 13:00~15:00 白樺の間(23階) 懇親会費3,500円 (軽食)

●申し込み締め切り—— 3月31日(木)必着で、同封のはがきにてお申し込みください。

尚、懇親会申し込み後の取り消しは4月8日(金)までとします。以後の取り消しや、当日急ぎよ欠席の場合は後日会費を頂戴致しますので、ご了承ください。

●多数の皆様のご出席を、役員一同心よりお待ち申し上げております。

## 懇親会、参加しましょう！

毎年、総会の後に行われる懇親会。参加された方々は歳を忘れ、学生の頃の昔話に花が咲きます。会では、いろいろな催しを企画しており、昨年、一昨年はシャンソンのコンサートが行われました。今回は、在学当時『アンジュアンサンブル』で活躍していた栄養科19回生のお二人が、現在所属している『小樽サロンドマンドリーノ』に演奏をお願いしました。

定期演奏会や、老人施設への出前コンサート等の活動をしているグループですが、会員のお二人をはじめ10数名で、8~9曲を演奏していただきます。きっと、学生時代に聴いた“アンジュ”的演奏が思い出されることでしょう。

懇親会への、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。



## バザーのお知らせ

天使大学祭は平成23年6月17日(金曜日)18日(土曜日)に開催されます。同窓会のバザーは18日(土曜日)です。同窓生の多数のご来場をお待ちしております。

年度始めの総会には、どうかご多忙とは思いますが、ご出席いただきまして、貴重なご意見をお聞かせ頂ければと思います。

各ブロックから選出された代議員さんが、総会に出席され、十分な討議をされることにより、同窓会の方向性や活動内容の充実がはかられるのだと思います。会員の皆様の同窓会に対する考え方や意向を公けにかけて発信するのも代議員の皆様の大きな大きな役割であると考えます。

**代議員の皆さんへのお願い**

心より「冥福をお祈りします」

渡辺雅子様

平成二十一年五月十五日逝去

厚生科十一回生（旧姓津沢）

作田幸子様

平成二十一年十月十五日逝去

栄養科八回生（旧姓下総）

山内久江様

平成二十一年五月十七日逝去

厚生科四回生

草野美沙子様

平成二十一年七月五日逝去

厚生科四回生

森睦子様

平成二十一年七月十日逝去

厚生科十八回生（旧姓山吉）

田中千恵子様

平成二十二年十一月二十八日逝去

栄養科七回生（旧姓佐々木）

## 弔電費の負担

同窓会を代表して弔電を打つ場合は、二〇〇〇円を同窓会で負担致します。弔電の差出人名は必ず「天使大学同窓会」と明記してください。領収書を同窓会会計宛に郵送ください。お支払い致します。

## 余賀のおぐやみ

## 図書館からのお知らせ

### 求人情報ご提供の依頼について

同窓生有志の方々（現在は坂本浩子様、澤田園江様、福本順子様）が長く図書館業務のお手伝いをしてくださり、館員一同、心から感謝しております。

また、卒業生の皆様には積極的に当館をご利用いたたいております。ホームページ等でご案内をしておりますので、どうぞご覧ください。

ご利用の際は、必ず事前にお電話をいただきたく、お願ひ申しあげます。

天使大学図書館

TEL 011-741-1051  
(内線111)

の開催、企業・病院等の訪問等を強化し、就職支援に取り組んでおります。  
つきましては、社会でご活躍されている卒業生の皆様に、栄養士職に関する求人の情報がございましたら、是非ご提供いただけますようお願い申し上げます。

連絡先 天使大学就職相談室  
TEL 011-741-1051  
(内線111)

FAX 011-741-1077  
(内線118)

就職委員長 山口 敦子  
連絡先をお知らせください。後日、こちらからご連絡させていただきます。  
なお、住所の変更は、同窓会ホームページからご連絡いただけますので、そちらの方もご利用ください。

日頃より学生の就職につきまして、ご支援を賜りありがとうございます。  
就職委員会では就職率一〇〇%達成を目指して就職支援を行っております。  
就職決定状況は、看護学科では一〇〇%（看護師九八%、保健師二%）、大学院等への進学は五名でした。栄養学科では二〇一〇年五月末での就職決定状況は、看護学科では一〇〇%（看護師九八%、保健師二%）、大学院等への進学は五名でした。栄養学科では二〇一〇年五月末での就職決定状況は八九・七%（管理栄養士・栄養士職六九%、栄養士職以外三一%）、大学院への進学は二名でした。この後、一ヶ月に就職決定率一〇〇%となりました。

現在の社会状況から、栄養学科の就職希望者の就業は厳しい状況にあります。

就職委員会では、学生対象の就職支援ガイダンスや大学内での企業セミナー

## 大学院からのお知らせ

### 大学院看護栄養学研究科の充実に向けた調査 一ご協力へのお礼と結果のご報告一

同窓生の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

天使大学大学院看護栄養学研究科は平成18年に開設されましたが、現在までに20名余りの大学院生が高度な専門教育を受け、修士（看護学）あるいは修士（栄養学）の学位を取得して、各界で活躍しております。更に、本年3月には博士（栄養学）の学位取得者も生まれました。しかし、現場で働く看護職、栄養士、管理栄養士の方々のニーズに対応するには、より一層の充実・改善・改革が必要と考え、平成22年4月、天使大学同窓生の皆様を対象として大学院への進学ニーズ調査を実施させて頂きました。多くの皆様方にご協力を頂き、また貴重なご意見を寄せて頂きました、大変ありがとうございました。この度、調査結果がまとまりましたので、別紙の通り概要をご報告申し上げます。

結果にもありますように、大学院で学びたいとのご希望をお持ちの方が多いからずおられるようですが、仕事や家庭との両立や学費等の問題を抱えていることも明らかになりました。これらを踏まえて、長期履修制度（2011年度より実施）や夜間開講、学費値下げなど、より学修しやすい制度の導入や、教育研究体制の改善・充実に取り組んでゆきたいと思います。皆様方の一層のご支援、ご協力ををお願い申し上げます。

以上、ご協力へのお礼旁々ご報告とさせて頂きます。

平成23年3月

天使大学大学院看護栄養学研究科 科長 斎藤 昌之

## 編集後記

全ページカラーとなりました  
「ふらたなす」いかがでしたでしょうか？ 今年度は、臨時号を含め年二回の発行の年でありました。  
(http://www.tenshi-dousoukai.org/)

電話／FAX ○11711-1088  
メールアドレス tenshi\_dousoukai@ybb.ne.jp

同窓会ホームページ  
(http://www.tenshi-dousoukai.org/)  
が勤務しておりますが、不在の場合には、左記連絡方法にて、ご氏名・連絡先をお知らせください。後日、こちらからご連絡させていただきます。  
なお、住所の変更は、同窓会ホームページからご連絡いただけますので、そちらの方もご利用ください。

## 『同窓会事務局への連絡について』

同窓会を代表して弔電を打つ場合は、二〇〇〇円を同窓会で負担致します。弔電の差出人名は必ず「天使大学同窓会」と明記してください。領収書を同窓会会計宛に郵送ください。お支払い致します。

就職委員会では、学生対象の就職支援ガイダンスや大学内での企業セミナー

担当常任理事 広報部 仙庭 前澤 西村 吉岡